



ClassNK-PEERLESS **MODELER**

ClassNK-PEERLESS **VIEWER**

Version Up News 2018.1

本製品の所有権は、一般財団法人日本海事協会にあります。

本製品および本書の著作権は、株式会社アルモニコスにあります。

本製品および本書は、本製品のソフトウェアライセンス契約に基づき、登録者の管理下でのみ使用することができます。

本製品および本書の一部または全部を、株式会社アルモニコスの承諾なく、無断で複写、複製、転載することを禁じます。

本製品の仕様および本書に記載された内容は予告なく変更することがあります。

本製品および本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

Contents

| | |
|-----------------------------------|---|
| 1. ClassNK-PEERLESS Modeler | 3 |
| 1.1. Important Changes | 3 |
| 1.2. New Features | 3 |
| 1.3. Improvements | 5 |
| 1.4. Bug Fixes | 7 |
| 2. ClassNK-PEERLESS Viewer | 8 |
| 3. Installation Notes | 9 |
| 3.1. Important Changes | 9 |
| 3.2. Version Compatibility | 9 |
| 3.3. Upgrade Notes | 9 |
| 3.4. Using Viewer | 9 |

1. ClassNK-PEERLESS Modeler

1.1. Important Changes

「レイアウト」タブが、「位置合わせ」「モデリング準備」の2つのタブに分割しました。

既存機能は以下のルールで振り分けています。

「位置合わせ」 点群の座標を動かす処理
 「モデリング準備」 点群の削除や間引き等の編集をする処理（ローカル座標系とワールド座標系の変換含む）

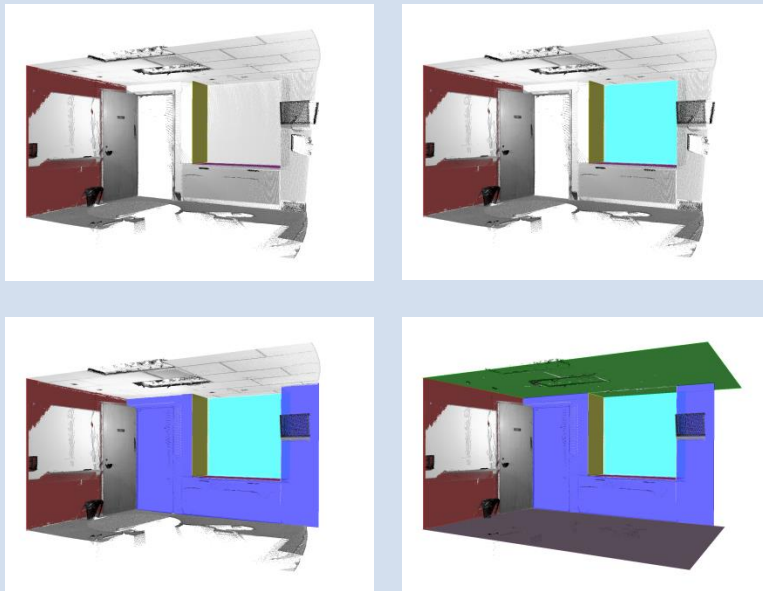
1.2. New Features

本リリースには以下の新しい機能が含まれます。

| Category | Description | Armo ID |
|----------|--|---------|
| 3D 寸法 | <p>3D 寸法機能をリリースしました。</p> <p>本機能で作成された 3D 寸法要素は保存が可能です。</p> <p>作成できる寸法は、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 距離寸法 ・ 軸距離寸法 ・ 配管長さ寸法 ・ 配管角度寸法 ・ 配管径寸法 | |

Distance Distance Axis Measure Length Angle Diameter Piping Information Remove Edit

モデリング／平面 周辺の平面との角出しを自動で行いながら平面を作成する機能をリリースしました。
 本機能により、平面作成時間が削減されます。



モデリング／平面編集 複数の平面を編集する機能をリリースしました。

- ・ 平面分割機能
- ・ 平面ブーリアン機能
- ・ 一括角出し機能

モデリング／直方体 部屋形状(直方体)を1コマンドで作成する機能をリリースしました。

／部屋
部屋の中から測定した点群を使って、部屋を構成する面を選択することで作成することが可能です。
壁や床を表す平面についてはそれぞれの要素タイプが設定されます。

モデリング／結合
直方体の1面と円柱端部を結合する面(ロフト面)を作成する機能をリリースしました。
これにより、丸ダクトから角ダクトに変わる形状の作成が可能となります。



配管／フランジ／作成
選択した配管上にあるフランジを自動作成する機能をリリースしました。

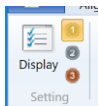
ポリゴン／入力
STLの入力機能をリリースしました。
外部で作成したSTLファイルを取り込んで配置することが可能です。

ツリー操作
以下のツリー操作機能をリリースしました。

- ・ ツリー名変更機能
- ・ グループ化機能
- ・ 要素のフィット機能

要素のフィット機能は、[表示] - [要素フィット]からも実行できます。こちらの機能の場合、配管を選択した場合、つながっている配管に対して処理することもオプションで可能になります。

表示／表示設定／点群
点群表示設定を複数(3つ)設定し、ボタン1つで切り替えられる機能をリリースしました。
これにより、レビュー時の点群表示率の操作が容易になります。



表示／表示設定
グリッド表示機能をリリースしました。
表示設定ダイアログで設定が可能です。

クリッピングボックス
クリッピングボックスをZ軸周りに回転する機能をリリースしました。



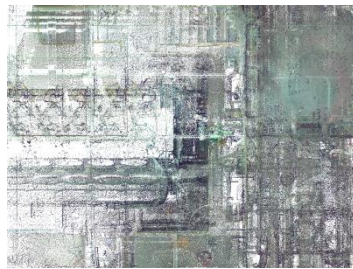
モデリング準備／使用済み点群削除
形状作成時に非表示になっている使用済み点群を削除する機能をリリースしました。

1.3. Improvements

本リリースには既存の機能に対する以下の改良が含まれます。

| Category | Description | Armo ID |
|-------------------|--|---------|
| 動的干渉チェック／ 経路再生 | 経路再生時に動画出力するオプションを追加しました。 | |
| 干渉チェック | 点群との干渉チェック結果を参照点群として保存する機能を追加しました。 これにより、干渉チェック後に計測機能で干渉部分の計測が可能となりました。 | |
| エクスポート／ EYECAD | 鋼材出力に対応しました。 | |
| 手動位置合わせ | フィーチャを移動するかどうかを設定するオプションを追加しました。 | |
| 自動配管認識 | 曲がり管を作成しないオプションを追加しました。 | |
| 配管結合 | ベンドの認識処理を改良しました。 これにより、ベンド管の認識率が向上しました。 | |
| 表示／点群 | 点群表示を改良しました。 表示設定ダイアログで表示点数を設定できますが、以前はビュー外も含めた点群数として利用しておりましたが、2018.1からは表示される点数として利用されます。 これにより、少ない点数を設定していても、モデリングしやすくなりました。 | |

・1000 万点表示



・2017.2 で拡大表示

1000 万点の一部が表示



・2018.1 で拡大表示

ビューに表示されている点が 1000 万点



表示／注記

注記の色、背景色、文字色を変更できるように改良しました。

注記を配置できる場所を、要素のみとすることで設定しやすくなり、関連注記を表示する機能でその要素に関連付けされている注記を表示することが可能となりました。



計測／部品リスト

部品リストを集計する機能を追加しました。

スケッチ改良

スケッチ機能を改良しました。

- ・ 移動／コピー機能で回転中心を指示できるように改良しました。
- ・ トリム機能で、交点がない要素を指定した場合、削除するように改良しました。

- ・ DXF 出力機能を追加しました。
- ・ 点群からスケッチ平面を定義する機能を改良しました。

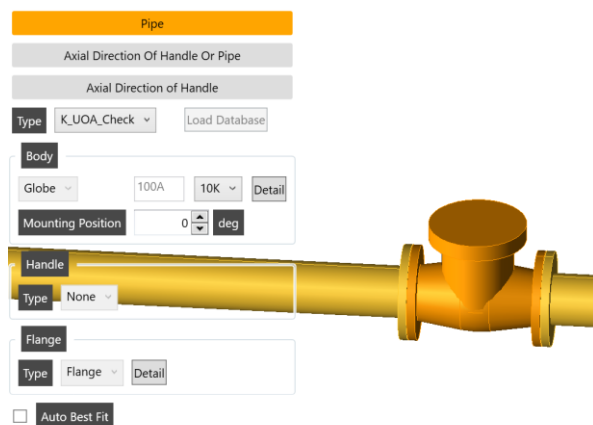
バルブ

バルブの DB を追加しました。

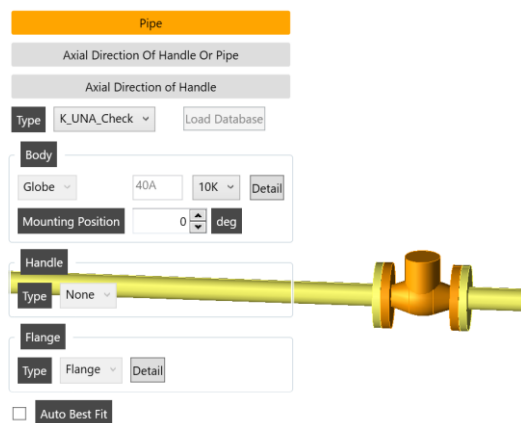
■ Ball Valve (Lever Flange)



■ Glove Valve (K_UOA_Check)



■ Glove Valve (UNA_Check)



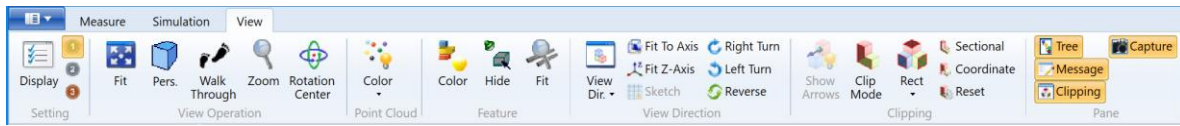
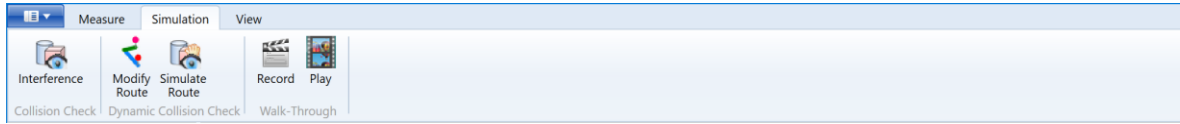
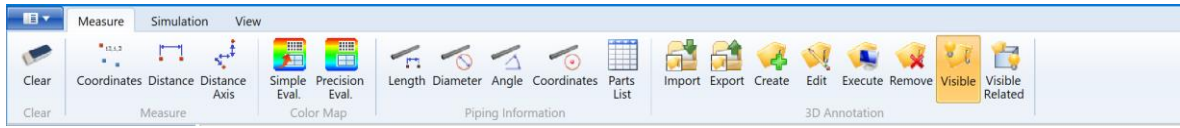
1.4. Bug Fixes

本リリースには以下の不具合修正が含まれます。

| Category | Description | Armo ID |
|---------------|--|---------|
| マウスホイールのズーム処理 | ビュー中心でズームしていたものを、マウス位置でズームするように修正しました。 | |
| 平面の角出し機能 | 外周線に曲線を含んだ平面が角出しできない不具合を修正しました。 | |
| 平面結合 | 内部ループがある場合、四角化される不具合を修正しました。 | |
| 出力 | 角鋼が選択できない不具合を修正しました。 | |
| その他 | 軽微な不具合の修正を行いました。 | |

2. ClassNK-PEERLESS Viewer

Modeler の機能拡張に伴い、機能が増えています。



3. Installation Notes

3.1. Important Changes

特にありません。

3.2. Version Compatibility

このバージョンをインストールする前に、次の互換性に関する注意事項を確認してください。

- ・ 本バージョンは、2018.1 以前のバージョンで作成したデータを読み込み、作業を進めることができます。

3.3. Upgrade Notes

- ・ 以前のバージョンがインストールされているコンピュータで、セットアッププログラムを実行するとアップグレードすることができません。
- ・ 以前のバージョンで DB を編集した場合は、各環境でアップデート作業を行ってください。アップデート作業は手作業で行う必要があります。

3.4. Using Viewer

- ・ Viewer は関連会社等で利用することができます。必要に応じて、Viewer のインストーラを配布してください。
- ・ Viewer をインストールするときに表示される使用権許諾を確認して、インストールを実行してください。